



平成30年8月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年10月17日  
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は680.5億円、前年同月比10.0%増、6か月連続のプラス  
映像機器、銅及び同合金、鉄鋼などが増加  
船舶類が全減、事務用機器、プラスチックなどが減少  
輸入額は1,224.4億円、前年同月比19.6%増、7か月連続のプラス  
原油及び粗油、鉄鉱石、揮発油などが増加  
石油コークスなどが減少

主要品目 (単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	6,876	99.6	↓	鉄鉱石	22,568	123.0	↑
鉄鋼	22,858	117.6	↑	銅鉱	30,520	107.9	↑
銅及び同合金	11,738	141.5	↑	石炭	18,263	109.0	↑
事務用機器	9,650	90.5	↓	原油及び粗油	17,582	138.2	↑
映像機器	7,637	251.6	↑	揮発油	11,584	134.6	↑
船舶類	-	全減	↓	液化天然ガス	12,187	105.2	↑

港（通関官署）別の状況 （詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

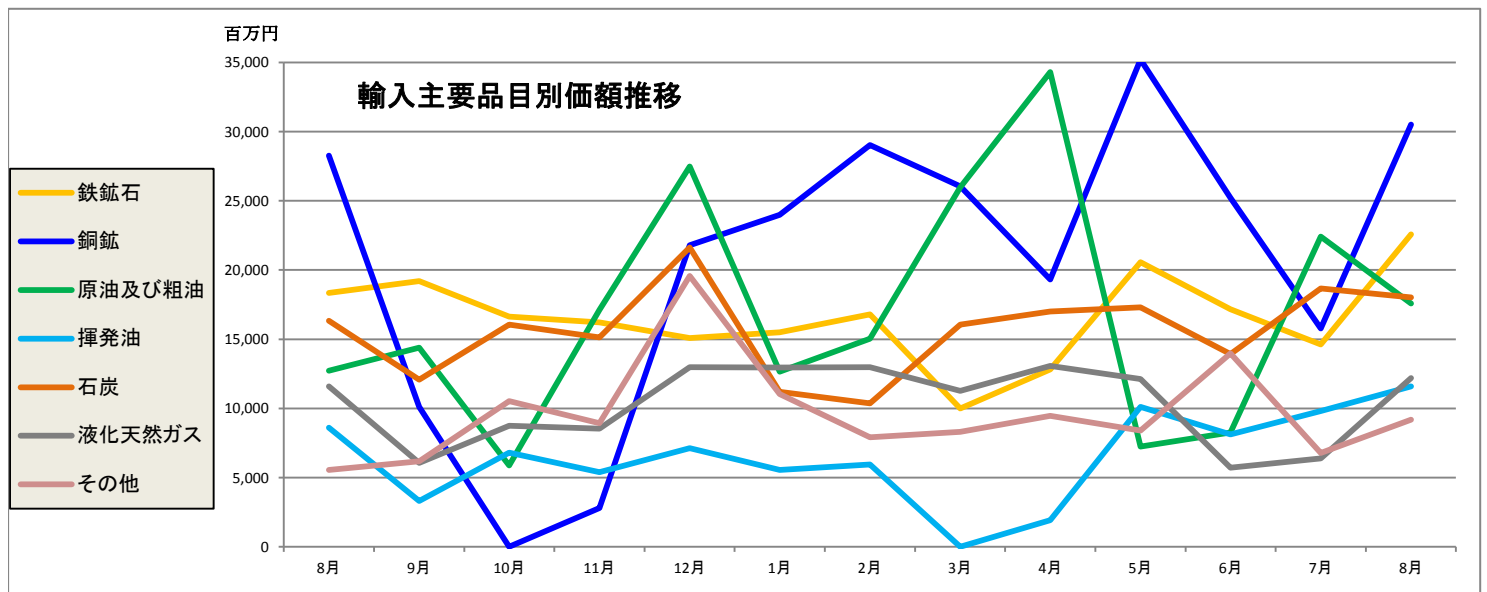
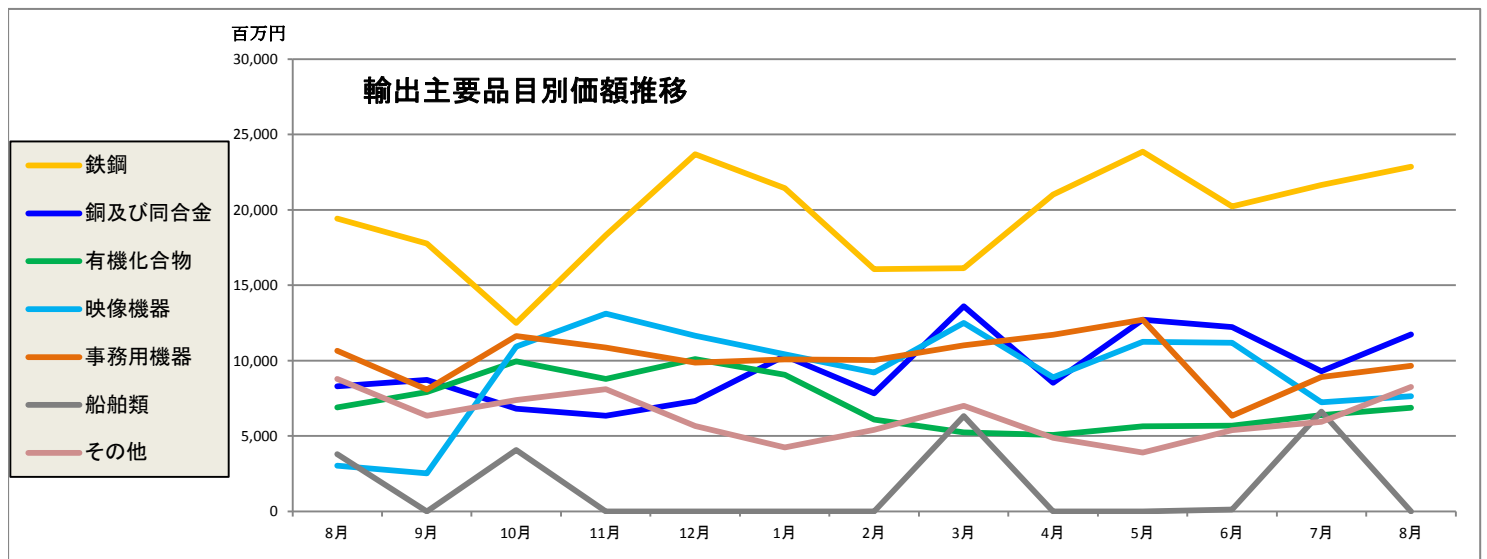
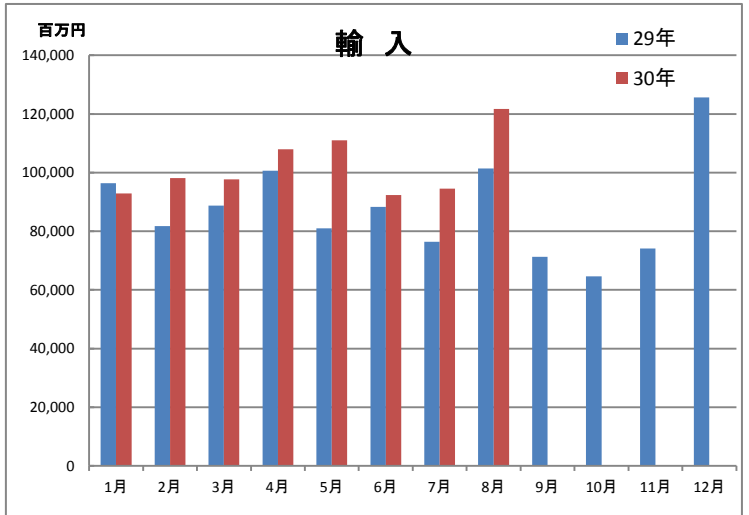
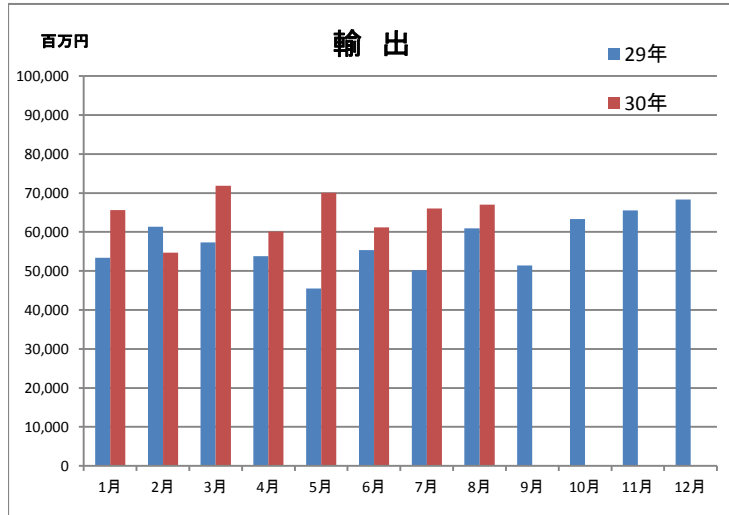
大 分）輸出は670.2億円、前年同月比10.0%増。映像機器、銅及び同合金などが増加、船舶類が全減  
輸入は1,216.5億円、前年同月比19.9%増。原油及び粗油、鉄鉱石、揮発油などが増加  
佐 伯）輸出は1.4億円、前年同月比57.8%増。魚介類が全増、木材が増加  
輸入は5.3億円、前年同月比4.4倍。一般機械、植物性原材料、金属製品が全増、植物性油かすが増加  
津久見）輸出は8.9億円、前年同月比1.2%増。セメントが増加、石灰石が減少  
輸入は2.7億円、前年同月比68.3%減。石油コークス、石炭が減少、アルコール飲料が増加  
大分  
空港）輸出入実績なし

港 名（通関官署） (単位：百万円、%)

区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	67,022	110.0	↑	6か月連続のプラス	121,647	119.9	↑	7か月連続のプラス	入超	54,625
佐 伯(佐 伯)	142	157.8	↑	3か月ぶりのプラス	528	439.2	↑	2か月連続のプラス	入超	387
津久見(津久見)	887	101.2	↑	3か月連続のプラス	266	31.7	↓	2か月連続のマイナス	出超	621
大分空港(大分空港)	-	-			-	-			-	-
大 分 県	68,050	110.0	↑	6か月連続のプラス	122,441	119.6	↑	7か月連続のプラス	入超	54,391

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。  
※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。  
※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

## 大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課  
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>  
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>